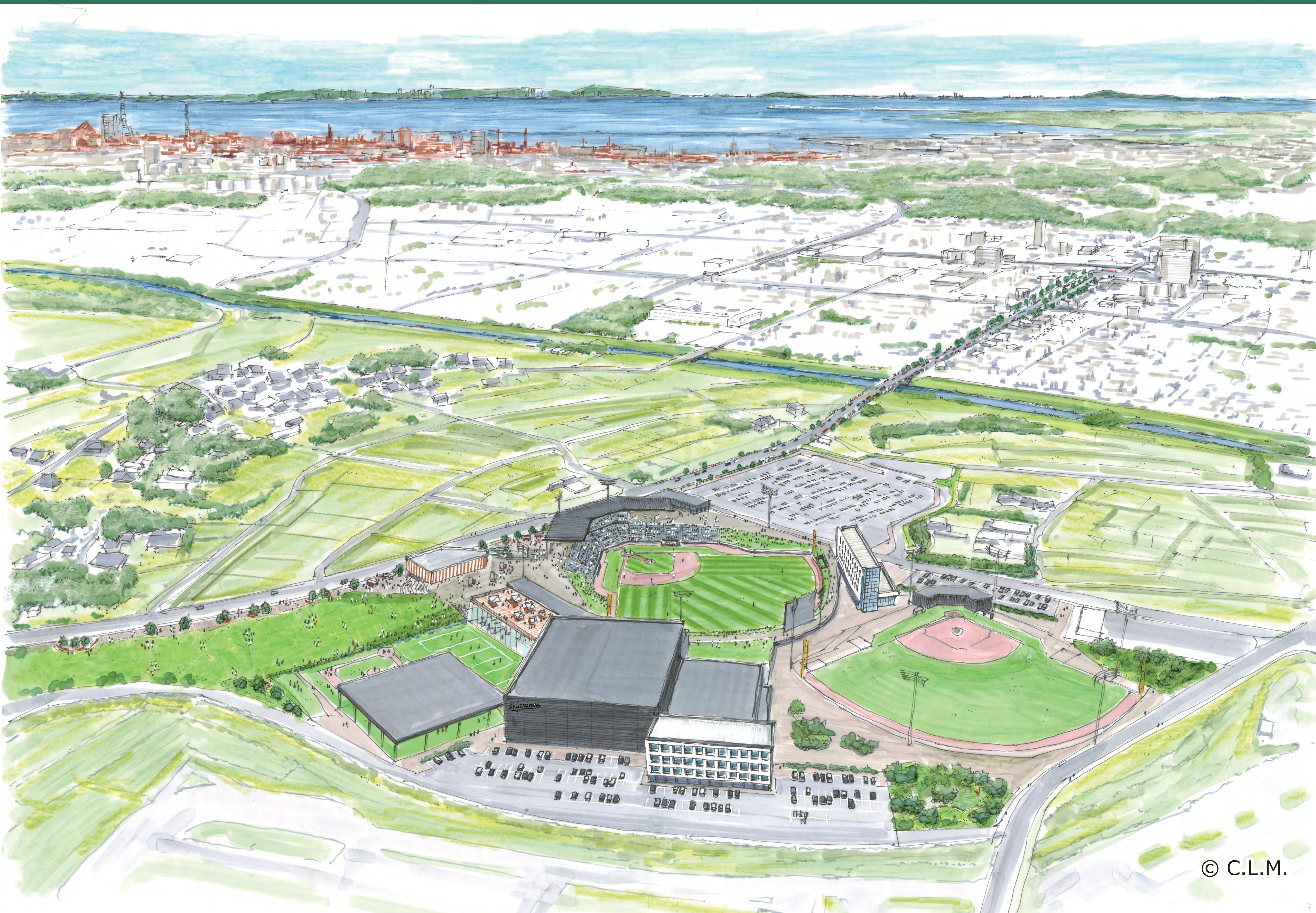




CO-FIELD KIMITSU

～人も、アイデアも、コミュニティも育む共創フィールド～

場所 君津市 貞元と中富の一部

- ▶ JR君津駅から 徒歩 約 10 分
- ▶ 君津 IC から 車で 約 8 分
- ▶ ZOZOマリンスタジアムから 車で 約 50 分

広さ 約 14 ヘクタール
(ZOZOマリンスタジアム 約 6 個分)



合言葉は BRING UP TOGETHER

CO - FIELD には、共に創る場所という意味が込められています。本公園は、施設整備が完了して「完成」ではありません。さまざまな人たちが共創して活動・活躍し、南千葉の多様な可能性を表現するためのフィールドであり続けるよう、開かれた場として機能する公園を目指します！

公園が担う役割 5 つの基本方針

交流拠点



経済拠点



成長と変化



健康拠点



防災拠点



CO-FIELD KIMITSU 特設サイト

Check!

基本計画など市ホームページで紹介しています！



千葉ロッテマリーンズファーム本拠地 千葉県君津市 で 2030 年 1 月開園予定！



計画地の場所



計画地の内容

- ▶ 種別＝総合公園
- ▶ 所在地＝ 君津市貞元と中富の一部
- ▶ 公園面積＝約 14.4 ヘクタール
(整備予定地約 14.8 ヘクタールのうち選手寮を除く面積)
- ▶ 開園予定＝2030 年 1 月末(目標)

どこに何を整備するか



クラブハウスゾーン

- 一般利用施設 (カフェ、屋内遊具施設など)
- 球団利用施設 (ロッカー／トレーニングルーム／事務機能／防災倉庫など)

付加価値ゾーン

スタジアムと連携し、公園の付加価値を高める機能を今後検討 (飲食機能や宿泊機能など、民間活用を活用して、持続可能な公園運営を目指す)

スタジアムゾーン

- ファーム (2 軍) 公式戦などの利用
- 観客席、チケット売場、飲食・物販店、散策路など

市民利用：選手の練習風景(非興行日)の見学や球団利用がないときの施設利用が可能です

エントランス・緑の広場ゾーン

- 各ゾーンにアクセスする玄関口
- 開放感のあるアプローチ空間
- 多種多様な使い方ができる芝生広場
- こども向け遊具など

トレーニングゾーン

- 球団が主利用するグラウンド、屋内練習場等の練習施設

市民利用：見学エリアから選手の練習風景の見学や球団利用がないときの一部施設利用が可能です

駐車場ゾーン

- 約 600 台の一般用駐車場
- 障がい者等用駐車区画や大型バス用スペース

交流拠点

みんなが気軽に集い、
交流できる開かれた公園

- ▶ いつでも多様な人々を受け入れ、
交流が生まれる開放性の高い空間
- ▶ こどもが遊び、大人が憩う複合的な
楽しみ方ができる
空間
- ▶ シビックプライド
(地域への愛着) を
醸成



5つの基本方針

本公園が担うべき役割として「5つの基本方針」を設定しました。これらの方針を、実際の公園の空間づくりや、公園を核としたまちづくりの展開（波及効果の創出）へ確実に結びつけていきます。

経済拠点

南千葉の魅力をむすび、
にぎわいを生み出す公園

- ▶ 南千葉の自然・食・観光資源を結び
つける「玄関口」
- ▶ 試合のない日でも人を惹きつける拠点
- ▶ まちの歴史や貞元
の風土・田園景観
といった土地の記
憶を空間づくりに
継承



成長と変化の拠点

プロに学び、こどもたちの
夢と挑戦を応援する公園

- ▶ プロアスリートが成長する姿を日常
的に「見える」環境
- ▶ スポーツや遊びなど多様な活動がで
きる広場や施設
- ▶ こどもたちが自ら
夢を描き、新たな
目標に向かって挑
戦する風土



健康拠点

公園でのあらゆる体験が
健康づくりにつながる公園

- ▶ 日常的な運動からリフレッシュま
で、誰もが思い思いに健やかに過
せる環境。
- ▶ 散策路やスタジアム内を周回できる
コンコース、カフェ、
休憩所
- ▶ 施設整備とソフト事
業の両面から市民の
健康増進を支える。



防災拠点

もしもの時にみんなを守る、
安全・安心な防災公園

- ▶ 最大 2 万人を受け入れる広域避難場
所としての役割
- ▶ 防災関係機関の活動
エリアや救援物資の
集積拠点
- ▶ 防災教育や訓練の場として活用
- ▶ 雨水の貯留や排水機能などの防災基
盤を整備



空間づくりの基本姿勢 — プロ野球を地域に「開く」 —

👁️ 見える

練習風景を目
にできる開放
的な空間設計

👉 入れる

日常利用の延長
で入れるシーム
レスな動線計画

🌐 広がる

多様な活動の
受け皿となる
空間の創出

公園を核としたまちづくりの展開 波及効果の創出

線の広がり

駅と公園をつな
ぐウォークブル
な空間づくり

面の広がり

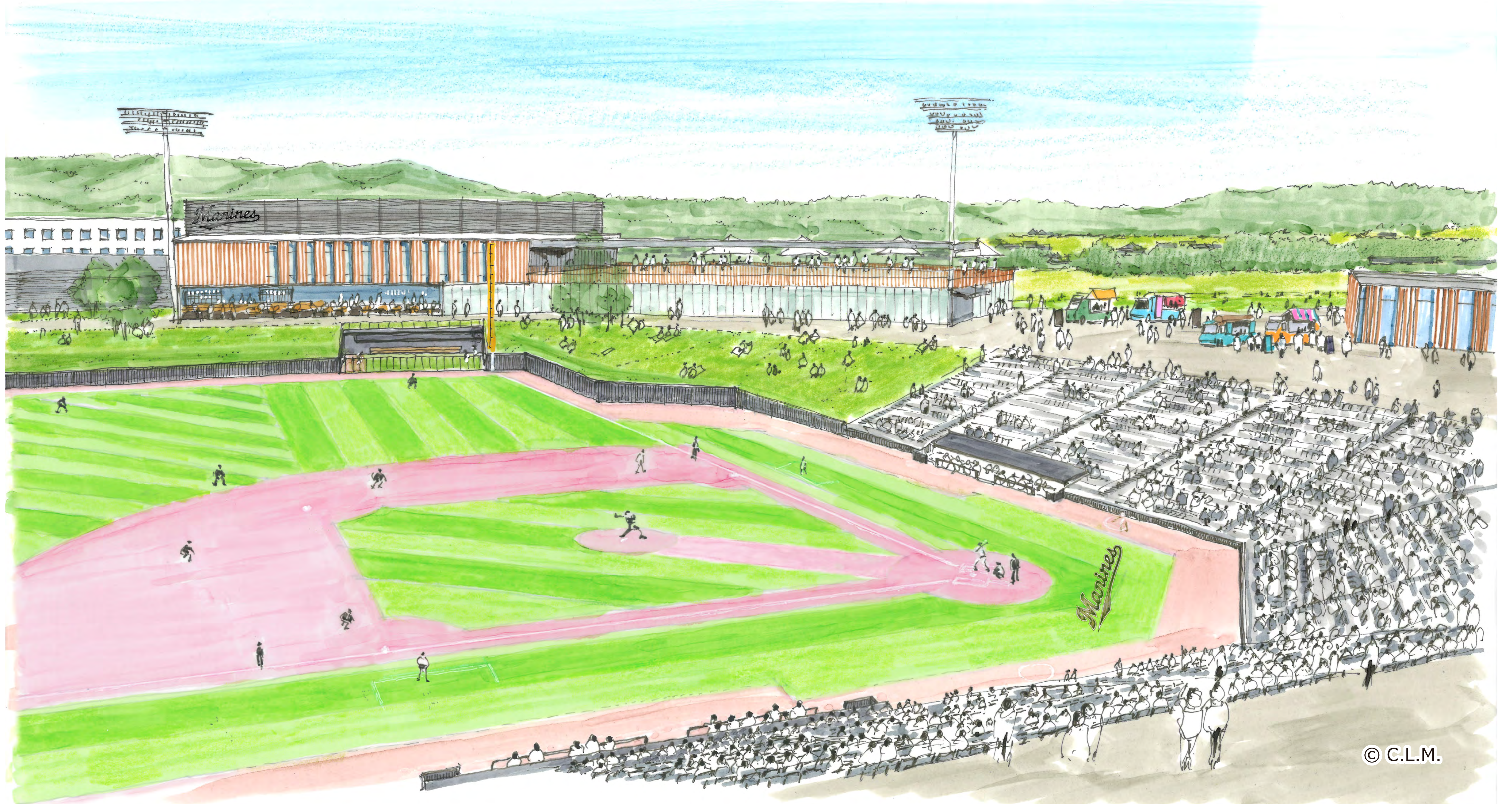
民間活力をいか
したまちづくり
と周辺開発

環の広がり

金融機関との連携
をはじめとした地
域経済の活性化

千葉ロッテマリーンズファーム本拠地 千葉県君津市 で 2030 年 1 月開園予定！

スタジアムゾーンの整備イメージ



© C.L.M.

内野席でゲームに熱中するだけでなく、コンコースのカフェでくつろぎなら、芝生席でのんびりと、あるいはグループ席でわいわいと。試合観戦だけでなく、スタジアムグルメやキッチンカーでの食事を楽しみつつ、思い思いのスタイルで野球を楽しめる、開放的なスタジアムです。コンコースはクラブハウスと繋がり、外野に位置するブルペンで投球練習をする選手を間近に見ることもできます。また、マリーンズのグッズショップも併設されるため、野球、グルメ、ショッピングと様々な楽しみ方を提供します。

広場ゾーンの整備イメージ



© C.L.M.

野球がある日もない日も、日常的に市民が憩い、集う芝生広場です。広場の横にはマリーンズのトレーニング施設が位置するだけでなく、イベントなどにも活用できるスペースを設けます。また、広場は奥のスタジアムへと自然に繋がっており、プロ野球チームのファーム施設ならではのワクワクを感じることができます。プロ野球選手の日々の練習風景を眺めるもよし、広場で遊ぶもよし、皆でイベントを開催するもよし。南千葉の共創フィールドとして、皆さんの多様な活動を支える広場です。

千葉県 君津市 ボールパーク推進課

千葉ロッテマリーンズファーム本拠地 千葉県君津市 で 2030 年 1 月開園予定！

市が整備する施設の概算事業費は、2026年6月時点の試算で **約208億円** を見込んでいます。
ただし、これを **全て市が負担するわけではありません。**

【事業費の負担割合イメージ】



市の負担は、千葉ロッテマリーンズからの施設・土地使用料や国の補助金・交付金を活用して軽減します。また、同球団と連携して本プロジェクトに賛同いただける方々を全国から募り、寄附金を集めることで、双方の負担割合をさらに減らしていく計画です。

